

## 実火災訓練教育を実施しました



室内火災発生時の濃煙熱気を体験できる「実火災体験型訓練施設」において、火災性状、注水効果及び個人装備に関する理解を深め、災害現場での受傷事故等を未然に回避できる隊員の育成を目的とした「実火災訓練教育」を実施しました。

[期 間] 第13回 令和4年12月20日（火）

第14回 令和4年12月21日（水）

第15回 令和5年1月10日（火）

第16回 令和5年1月11日（水）

いずれも1日間の日程で実施

[会 場] 埼玉県消防学校

[到達目標] 火災現場における各級指揮者として、消防活動に困難を伴う災害現場において、安全管理に配慮しつつ、適切・効果的な消防戦術を  
できる。



注水要領



注水要領



座学 (火災性状)



資機材設定要領



実火災体験型訓練



実火災体験型訓練



実火災体験型訓練



実火災体験型訓練

## 埼玉県央広域消防本部 高野 潔 消防司令

### 【修了後の感想】

今回の訓練教育では、訓練装置本体コンテナ内に入り、中性帯が形成されロールオーバーが発生するまでの過程を確認することができました。

実際にコンテナの中に入って体感した熱気と、時間経過による温度変化の記録を照らし合わせ、防火衣を着装した状態で自分が感じる熱気と実際の温度差について、より具体的に学ぶことができました。

防火衣の完全着装の重要性を再認識できましたので、災害現場での受傷事故を未然に回避できるよう、部下の指導及び災害活動に活かしたいと思えます。

この訓練施設だからこそ経験できる内容が多く、受講できたことに感謝しております。

### 【後輩へのメッセージ】

火災現場において、防火衣を着装した自分が体感する温度と防火衣を着装していない要救助者が感じる温度は違います。

近年、SNSや動画閲覧サイトの普及により、今回の訓練教育内容に近いものをインターネット上で閲覧することもできます。

しかし、間近で輻射熱を感じ五感を研ぎ澄ませながら訓練を実施することは、動画で客観的に見るものと違いとても貴重な体験です。

事前に配付される資料を熟読し、「この訓練教育で自分が学べるものは何か？」をしっかりと考え、この訓練教育に臨んでください。

## 埼玉県南西部消防局 木村 賢二 消防司令

### 【修了後の感想】

実火災訓練教育で訓練した各種注水要領、コンテナ内に入っての実火災体験及び座学(火災性状・注水理論)を通じて、今一度火災対応(個人装備・消火戦術・検索救助)を見直す必要があると痛感しました。

本研修で学んだ事及び今までの現場経験を振り返り、火災件数の減少、建物構造(高气密・高断熱)の変化に対応できるように訓練を重ね、知識、技術を向上させていこうと思います。火災対応の経験が少ない隊員への技術伝承はもちろん必要ですが、まずは自分自身(各級指揮者)が学習し、変化に対応することが必要だと感じました。また、建物構造が変化することで火災性状も変化するため、消火活動後の焼損状況を見分し、延焼経路及び延焼拡大要因の調査もしっかり行い研究していこうと思います。

実火災で判断が難しいのは、定常燃焼段階での屋内進入及びロールオーバーを確認した時の消火戦術の判断かと思えますので、今後検討を重ねていき、安全を第一に活動する中、人命救助のタイミングを逃すことがないように活動していこうと思います。

熱心にご指導いただきありがとうございました。

#### 【後輩へのメッセージ】

皆さん、仕事(消防)で夢を持っていますか？私の夢は、隊員の熱い思いを受け止め、各種災害で迅速、的確に活動方針を判断できる大隊長又は指揮隊長になることです。この夢を実現させるには、目の前のことを一生懸命に行い責務を果たすこと、その積み重ねが夢の実現へと繋がると私は信じています。情熱を持ち続けることは、たやすいことではありませんが、一人一人の情熱が消防を支え、更なる高みを目指す原動力になると思っています。いくつになっても学びを忘れず、日々少しでも成長(進化)し、市民の生命及び財産を守れるようにお互い頑張りましょう。

### 埼玉西部消防局 竹野谷 修 消防士長

#### 【修了後の感想】

今回の実火災訓練教育では、消火活動における危険な状況の判断や、火災現場での活動時における防火装備の重要性、各種注水要領など実際の現場活動に必要な知識及びスキルを教わる事が出来ました。

活動のためにフィットさせて装着している装備も、高温下では空気層を形成するために締め付けすぎない方が、断熱効果が上がり熱傷のリスクを軽減させることを教わり、その効果を閉鎖型訓練での高温下のコンテナ内で体感することが出来たことが、大変貴重な経験となりました。

今後はこの訓練教育で得た知識を活かし、受傷事故ゼロを目指して日々精進していきたいと思えます。

#### 【後輩へのメッセージ】

近年、火災出場の機会が減るなかで、高気密・高断熱住宅などの密閉空間火災での火災性状が再現できる訓練施設はとても貴重であり、また高温下での防火装備着装の重要性・注水効果などを担当教官の方々による徹底した安全管理のもと、安心・安全に体験できる実火災訓練教育は火災現場経験の少ない隊員にとって、とてもいい機会だと思います

本教育を通じて火災現場の危険性・事故要因を学び、自身の受傷事故を防ぐとともに尊い仲間の命を守れる隊員となってください。